

広報 ほうじょう

春休み
 特集号
 方中城小町
 青少年問題協議会

＝町ぐるみで子どもの健全育成をはかるために＝
 わたしの家庭では守ります。

- ◎小学生は友達だけで町外へだしません。
- ◎夜間の外出・外泊・夜あそびはさせません。
- ◎バイクの暴走運転はさせません。

- ◎『あいさつ運動』のご協力を
- おうちのなかで みんなに
- 「おはよう」
- 「こんにちは」
- 「こんばんは」
- 「おやすみ」
- 近所の人や 町内の方々に
- 「おはよう」
- 「こんにちは」
- 「こんばんは」
- （保育園児・小学生・中学生が実施中です。）



青少年の問題行動が、最近では個から集団化へ進み、しかも特徴的傾向として、家庭内暴力や校内暴力の激発と、大きな社会問題になって来ました。

特に福岡県での校内暴力の発生は、この一年間に四七〇件に達し、全国第二位と新聞報道されています。

**青少年の健全育成を
 みんなで考えよう**

方城町青少年問題協議会々長 中島義章

こうした傾向について「わが子に限って」と、まるで他人事のように考えてはられません。

また、その原因が現代社会にあるとか、学校教育にあるとか、家

庭や親の子育てにあるとか、人のせいにして、お互いに責任を回避していいものではないでしょうか。

これからの明るい社会を築いていく上で、青少年の健全育成は全ての、大人たちの責務ではないでしょうか。

町ぐるみで、青少年の健全育成に取り組もうではありませんか。

を託すにふさわしい人間づくりに、今こそ、全ての町民が目覚め、起ちあがる時ではないかと考えます。

われわれも、方城町の将来

春休みを楽しくすごすために 方城中学校・伊方小学校・弁城小学校

子どもたちが楽しみにしていた春休みが始まりました。今までの学年が終わり、新しい学年へ進むので、気持ちがあきあきしてきます。思わぬ事故や問題がおこりがちです。短い期間ですが、次のことに気をつけ安全で楽しい春休みにしましょう。

伊方・弁城小学校

■春休みを、たのしくすごすため、つぎの六つのやくそくをしっかりと、まもりましょう。

一、自分の力で学習しよう。
 ○自分の机の中などの整理をして新しい学年で使うもの、いらなくなつたものなどを、まとめましょう。
 ○今までの学年の復習をしましょう。
 ○読書など自分のすきな勉強をしましょう。

二、きまり正しい生活をしよう。
 ○朝ねぼうや夜ふかしはやめましょう。
 ○毎日のお手伝いをきめて実行しましょう。
 ○外出するときは、行き先など家人のとどけましょう。
 ○午前十時前と午後五時すぎの外

出はやめましょう。
 ○町外へは友達だけで、でかけないようにしましょう。
 ○むだづかいをしないようにしましょう。
 ○家の人や近所の人たちに、あいさつをしましょう。

三、安全な生活をしよう。
 ○自転車の二人のりや手ばなしはやめましょう。
 ○道路、池、川など、きけんな場所、遊ばないようにしましょう。
 ○火のとおりあつかに気をつけましょう。

四、健康に気をつけよう。
 ○家の中にとじこもらないで、外で元気に遊びましょう。
 ○毎日、次のことを実行しよう。
 歯みがき、顔あらい、手伝い、うがい。
 ○からだのわるいところは、この休み中になおしましょう。

一、生活について
 (1) 学習
 ○不得手な教科は復習をして力をつけよう。
 ○勉強は午前中にしよう。
 ○長所や趣味をのばすよう、心がけよう。

二、町民の方々へお願い
 中学生として非行をあげますとおよそ、次のようなことがらです。
 (1) 喫煙（公民館の裏側や墓地など、人通りの少ない場所）
 (2) バイクの無免許運転（夜中や人目のつかない林道など）
 (3) 夜遊び。
 (4) 自転車の二人乗り。
 などの行為がありましたら、わが子でなくても、みんなご注意ください。よろしくお願いいたします。

親が知らないうちに
子どもは
別世界に……

昭和55年小中高校生の 万引少年実態調査表

区分	学級別	小学生	中学生	高校生	計
		日	13	30	3
曜日	月	2	6	3	11
	火	6	11	7	24
	水	1	5	1	7
	木	3	13	3	19
	金	2	8	5	15
	土	7	12	7	26
	計	34	85	29	148
時間別	午前		14	3	17
	午後	34	71	26	131
場所別	計	34	85	29	148
	その他		6		6
月別	計	34	85	29	148
	1	2	3	4	9
	2	4	7	4	15
	3	3	15	5	23
	4		4	3	7
	5	2	2	1	5
	6	1	10	2	13
	7	2	4	2	8
	8	2	10	4	16
	9	2	8		10
	10	3	4	2	9
	11	6	8	1	15
	12	7	10	1	18
計	34	85	29	148	

万引きがこれだけ おこなわれています

田川警察署管内

田川署管内で、小中高校生による万引が異常に増加し、昭和五十六年一月～二月の二カ月間に63名が捕縛されています。特に遊び型の非行が多くなり、しかも、低

年齢化しています。家庭で買いたえた以外の品物を持つている場合は、子供に聞きただしていただきたいと思えます。

親と子の問題

○三つ児の魂百まで。幼時から善悪のけじめをきびしく教え、叱るべき時は叱り、善い点は認め、ほめはげまし、善い事をした喜びを味わせるべきだ。叱りもせずほめもせぬ無関心と放任の中で育つた子は、精神的カギツ子、孤独感と欲求不満が非行にかりたてる。

○子どもの前で先生や夫（妻）のわるい口を言うことは禁もつ。母（父）は常に父親（母親）の立派さ、すばらしさを子どもに語りかけるべきで、そこに親（教師）の権威が育つ。尊敬と信頼のないところに教育はない。

○「子供は親の言う通りにならずする通りを見習って育つ」「子供は親の姿を写す鏡」といわれるのは、非行問題の根が親にある事を示していると共に、実践をとまなわぬ口先きだけのしつけの無力をのべている。

○子供の非行化の原因をたずねてゆくと、夫婦の不和による家庭の乱れの事実が一番多くつきあたる。

○問題少年といふけれども、問題家庭が先で、少年は問題親の被害者。

氏名	住所	電話番号
方城派出所	方城町中央公民館	四三〇〇
金田派出所	金田	〇一一〇
永岡清	永岡	〇四六二
手島直倫	手島	〇五五四
福高也	福高	〇二七七
手島秋信	手島	〇〇四一
中村良一	中村	二四二三
葛原ハツ子	葛原	三〇七二
財津政義	財津	〇七二〇
古賀邦明	古賀	〇一九二
方城中学校	方城	〇三三七
伊方小学校	伊方	〇二二七
弁城小学校	弁城	〇二二九

非行を見たら
ここに連絡を

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

(2) 外出

○行き先、用件、帰宅時間は必ず家人に告げてでかけること。
 ○夜間の外出、外泊は絶対禁止。
 ○外出は制服、制帽で。

(3) 遊び

○危険な遊びや危険な場所には出入りをしないこと（野焼き、ゴム銃、シンナー）
 ○パチンコ、インベーダーなど、好ましくない場所への出入りはしない。
 ○農作物など他人の所有物を荒さない。

■入学式

四月八日 弁城小学校・伊方小学校
 四月九日 方城中学校

■始業式

四月六日 弁城小学校
 伊方小学校
 方城中学校

親は子どもを叱るべきときに叱っていますか、
しっ責も賞讃も子育てにとって
大切なことです。

***** あなたはどのタイプでしょう *****

拒否型

子どもを必要以上に押えつけるので、子どもは常に胸にこもり、その腹いせに乱暴したり、人に迷惑をかける行動へと走る。

期待型

子どもの考えを無視して親が一方的に期待をかけ干渉しすぎる。子どもはイライラして不安がつのり、神経質になり家出をしたり問題行動へと走る。

矛盾型

あるときは叱る
あるときは見逃す
親子の不信感が
つのり、意志が弱くなり
社会人として欠落してゆく。

厳格型

子どもは、親を恐れて
服従するが、独立心が
育たない。
人に引きづられて
問題の行動に走る。

溺愛型

過保護のため、耐えることが
できない、生活が乱れ、ずるずると問題を引きおこしてゆく。

不一致型

両親の考えが、別々では
子どもは迷い、不満だらけになり、反抗心がわく反社会的行動がみられる。

広報
ほうじょう
(122号)

昭和五十六年四月一日発行
発行 協和印刷
編集 協和印刷
企画 協和印刷
印刷 協和印刷
印刷 協和印刷

ご協力下さい

- 喫煙している少年を目撃した時には、思いやりのある“ひと声”を
- 少年には、タバコを売らないように、買わせないように…。